

進路と教育費

ハンドブック



目次

中学校以降の進路の選択肢
..... P1

進路選びのポイント
..... P6

学費・教育費について
..... P7

◆ 困ったときの相談先としてP10

中学校以降の進路の選択肢

どんな進路の選択肢があるの？

小
中
学
校

公立

通常の学級

通級による指導

特別支援学級

特別支援学校

私立

フリー
スクール

高
校

全日制(公立 / 私立)

定時制(公立 / 私立)

通信制(公立 / 私立)

サポート校

高等専門学校

高等専修学校

特別支援学校

フリースクール

高
校
以
降

大学

短期大学

専門学校

一般就労

福祉的就労

高等専門学校って？

意外と知らない！高校からの進路の選択肢

概要

主に工学・技術系の専門的な教育を行う、5年制の学校。通称「高専」。卒業時には短大卒と同じ学位が与えられる。

特徴

実践的技術者（エンジニア）を養成することを目的としている。就職率・進学率が非常に高く、ほぼ100%となっている。
卒業後は2年生の専攻科、大学への3年次編入が可能。

就職について

電気機器、精密機器、自動車、化学、繊維、医療機器、情報通信、エネルギー、サービス等で有名企業から、専門技術が必要となる企業、地域密着型の中小企業への就職が多くなっている。



必要な学費・教育費の目安

入学料	約 8 万円（入学時）
授業料（年額）	約 23 万円
月額寄宿料	一人部屋 約 800 円、二人部屋 約 700 円
卒業までの学費	約 160 万円 ※教科書代等含む

出典 独立行政法人国立高等専門学校機構「高専はこんな学校」

高等専修学校って？

意外と知らない！高校からの進路の選択肢

概要

「職業訓練」の側面が強い学校。1年制～3年制がある。
(※学科によっては5年制もある)

特徴

農業・医療からファッションデザインまでと非常にバラエティに富んでいる。資格取得に積極的。不登校生徒を受けて入れている学校も多い。

3年制の卒業後、専門課程(専門学校)へ入学可能。専門学校卒業後は約8割が就職している。費用等学校により様々なため各学校の詳細を調べる必要あり。

就職について

都内の専修学校(高等課程)の就職率は50%程度。
就職率が最も高いのは「理容・美容」でほぼ100%である。
この他にも「文化・教養」や「医療」分野も50%を超えている。



必要な学費・教育費の目安

入学料	約 10 万円～ 20 万円
授業料 (年額)	約 50 万円～ 80 万円
卒業までの学費	約 150 万円～ 240 万円

出典 文部科学省「高等専修学校とは」
進路探索ナビ「高等専修学校の学費」

通信制高校とサポート校

意外と知らない！高校からの進路の選択肢

	通信制高校	サポート校
概要	自宅学習をメインに単位取得をし、高校卒業資格を得る学校	通信制高校の卒業をサポートするために主に「学習面」のサポートをする、塾のような場所
特徴	課題の添削（レポート）、面接指導（スクーリング）、試験（テスト）などを通じて単位を取得	連携している通信制高校に籍があり、高校卒業資格の取得ができる
授業料（年額）	公立 約 1~3 万円 私立 約 18 万円 ~	約 30~80 万円 ※通信制高校の学費に加えかかる
授業料以外の費用	公立 約 3 万円 私立 ネットコース 約 3 万円 通学コース 約 10 万円	

出典 通信制高校ナビ「通信制高校の学費（授業料）はいったいいくら？」

フリースクールって？

意外と知らない！高校からの進路の選択肢

概要

フリースクールは社会において「不登校の子どもたちの居場所」という役割を果たしている団体や施設。

特徴

- ・入学資格を設けていないこと
- ・異なる年齢・年代の子どもが集まっていること
- ・決まったプログラムやカリキュラムを持っていないこと

などの特徴があり、授業内容は学校教科の学習ばかりではなく、他者との交流を行いながら自分の好きなことを自由に学ぶことができる場所であることが多い。

サポート校とフリースクールの違いは？

フリースクールが主に精神面のサポートを行い、広く不登校の子どもたちを対象としているのに対して、サポート校は主に学習支援に軸足を置いており、学習塾という色合いが強い。

必要な学費・教育費の目安 ※小中学校

入学料	約 5 万円
授業料（年額）	約 40 万円
卒業までの学費	約 120 万円 ※3 年間の場合

出典 LITALICO 発達ナビ「フリースクールとは？不登校の子どものための授業内容、費用や利用方法、在籍校の出席認定について解説」
文部科学省「小・中学校に通っていない義務教育段階の子供が通う民間の団体・施設に関する調査（平成 27 年）」

進路選びのポイント



子どもにどんな人生を歩んでほしいかを考える

どんな場所で過ごすかだけでなく、どのような人になってほしいかをイメージしてみましょう。

将来像がクリアになることにより、よりお子さまに合った環境を選択することができます。具体的には、以下のような点をまず考えてみてください。

- ◆ お子様どんな日々を過ごしてもらいたいのか
- ◆ どんなスキルを身に付けてもらいたいのか
- ◆ その学校を卒業した後、どのようにしてもらいたいのか

早くから進路先に関する情報収集を行う

保護者さまが、「先」に可能性ある選択肢を知っていることが、お子さまの安心や将来の見通しにつながっていきます。

情報収集と合わせて、実際に学園祭や学校公開日に少しずつ気になる学校の雰囲気を感じてみるのもおすすめです。

本人の意思を尊重 & 学校見学

最終的に進路を選択し、実際に通われるのはお子さまです。ご自身で選択できるような状況や環境を作ってあげましょう。

学校によっては、説明会への参加が受験の必須項目になっている場合があります。スケジュールは早めに把握し、前もって準備できると良いですね。

学費・教育費について

中学卒業までにかかる費用について

小学校

学校の種類	学校教育費	学校外活動費	年間総額	6年間総額	月額
公立小学校	11万円	21万円	32万円	192万円	2.7万円
私立小学校	95万円	65万円	160万円	960万円	13万円

中学校

学校の種類	学校教育費	学校外活動費	年間総額	3年間総額	月額
公立中学校	18万円	31万円	49万円	147万円	4万円
私立中学校	107万円	33万円	140万円	420万円	12万円

学校教育費 授業料、修学旅行費、給食費、生徒会費、教科書費、クラブ活動費、制服代など

学校外活動費 参考書、問題集、家庭教師代や学習塾代、芸術やスポーツの月謝、交通費など

出典 文部科学省「子供の学習費調査（平成30年度）」

高校にかかる教育費の目安

※1 学校により異なる ※2 授業料のみの記載

学校の種類	入学金	学校教育費	学校外活動費	年間総額	3年間総額	月額
公立高校	0.6万	28万	18万	46万	138万	3.8万
私立高校	16万	72万	25万	97万	291万	8万
高等専門学校	8万	※1		※2 23万	69万	2万
高等専修学校	10~ 20万	※1		※2 50~ 80万	150~ 240万	4~7万
通信制	公立 500円 私立 2~5万	※1		公立 ※2 1~3万 私立 18万~	公立 3~9万 私立 54万~	公立 0.25万 私立 1.5万
サポート校	10万	※1		※2 30~ 100万	90~ 300万	2.5~ 8万

出典 文部科学省「子供の学習費調査（平成30年度）」
 通信制高校ナビ「通信制高校の学費（授業料）はいったいいくら？」
 進路探索ナビ「高等専修学校の学費」
 独立行政法人国立高等専門学校機構「高専はこんな学校」

高校卒業後の教育費の目安

※1 入学金、授業料のみ記載 ※2 入学金、授業料、施設設備費で記載
 ※3 入学金・授業料・施設設備費・その他込み、昼専攻の場合で記載

学校の種類	初年度	次年度以降	在学期間	月額
国立大学	82 万円	54 万円	244 万円 (4 年間)	5.0 万円
公立大学	93 万円	54 万円	255 万円 (4 年間)	5.3 万円
私立 文系大学	117 万円	94 万円	399 万円 (4 年間)	8.3 万円
私立 理系大学	154 万円	129 万円	541 万円 (4 年間)	11.0 万円
私立 医歯系大学	482 万円	375 万円	2,375 万円 (6 年間)	32.7 万円
私立短大	112 万円	88 万円	288 万円 (2 年間)	12.0 万円
専門学校	125 万円	107 万円	232 万円 (2 年間)	9.7 万円

出典 文部科学省「国公立大学の授業料等の推移」
 文部科学省「平成 30 年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額（定員 1 人当たり）の調査結果について」
 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会「平成 30 年度学生・生徒納付金調査結果について」

困ったときの相談先として

子どもの進路や将来の自立に向けて相談できる場所

◆ 発達障害者支援センター

保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関と連携し、地域における総合的な支援ネットワークを構築しながら、発達障害児（者）への支援を総合的に行う専門機関です。

公式 HP | <http://www.rehab.go.jp/ddis/action/center/>

◆ 児童発達支援センター

障害のある子どもが通所し、日常の基本動作・集団適応といったスキルの訓練を行う施設です。お住まいの市区町村へ問い合わせが必要です。

保健所・保健センター

こころの健康、保健、医療、思春期問題、ひきこもり相談など幅広い相談を受けつけています。

＼ LITALICO ライフも進路や自立に関するご相談承っています /

まずは情報収集からはじめる方へ

発達障害のある子の
保護者さま向け勉強会

勉強会ラインナップは次ページ





対象 小学生～中学生・グレーゾーン

個性を伸ばす 中学・高校受験

詳細
をみる



対象 年長～中学生

支援級 卒業後の進路

詳細
をみる



対象 小学校高学年以上

親なきあとの お金と自立

詳細
をみる



対象 小学生～中学生

不登校の支援 と将来への準備

詳細
をみる



詳細は
こちら

life.litalico.jp/hattatsu/

LITALICO ライフ 勉強会

